

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	内容が教科・科目の目標に適合しており、程度が生徒の実態に即している。
	地理歴史	内容が科目の目標に適合しており、程度が生徒の実態に即している。
	公民	内容が科目の目標に適合しており、系統的で分量も適切である。
	数学	生徒の実態に即している。選択科目については、やや発展的な内容の学習を望む生徒にも対応できる。
	理科	教科の目標を達成するよう適切な創意・工夫がなされ、程度が生徒の実態に即しており、適当である。
	保健体育	内容が目標に適しており、生徒の実態にも即している。図・表現等が正確である。
	芸術	内容が目的に適しており、生徒に実態に即している。本文、資料となる写真や図版の印刷が鮮明で視覚的にわかりやすい。
	外国語	基礎の学びなおしや反復による学習に適した内容で基礎学力定着のための工夫がなされている。
	家庭	内容が教科・科目に適合している。また程度が本校生徒の実態に即し、適当である。
	情報	本文、図表が正確であり、印刷も鮮明である。内容が教科・科目の目標に適合している。
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	
	工業	
	商業	
	水産	
	家庭	内容が教科・科目の目標に適合している。写真・図表が適切で分量もよい。
	看護	
	情報	
	福祉	